

和泉市立学校 水泳授業屋内プール活用 モデル事業について

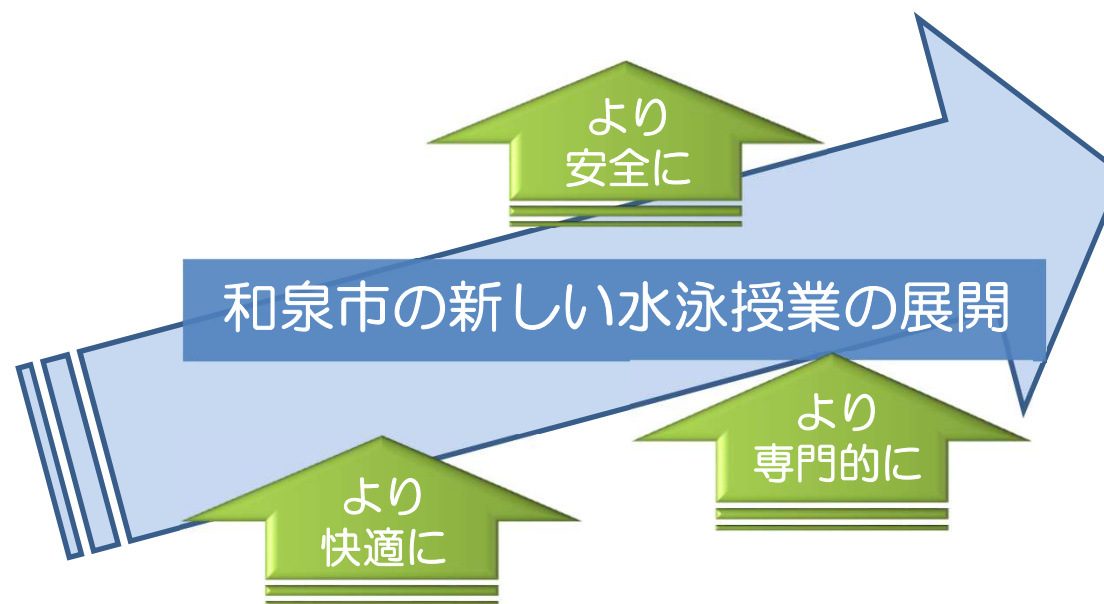
和泉市教育委員会事務局
教育・こども部 学校教育室

令和5年1月

水泳授業のあり方について

方向性

学校の水泳授業に **民間等の屋内プールを活用** し、
「**安全性**」、「**快適性**」、「**専門性**」の3つの観点で
さらなる充実を図り、和泉市の新しい水泳授業の
展開を推進



検討の背景

(1) 猛暑等の気候変動について

- ・水泳授業の実施が不安定化
- ・平成30年の水泳記録会中止
- ・令和元年の水泳記録会は早朝からの実施で対応 など

- ① プールサイドや水温の上昇による、熱中症の危険
- ② プール授業は暑さ指数が 31°C を超えた場合に中止
- ③ 天候の影響で授業を実施できない日が発生

検討の背景

(2) プール施設の老朽化等について

- ① 今後 10年で多くの学校プールが更新時期を迎える
- ② 現状においても、ろ過機やプール槽のひび割れ等、小規模、中規模の改修対応が必要な状況
- ③ 水泳の授業数、維持管理、更新コストの関連からあり方の検討が必要な状況

検討の背景

これからの水泳授業のあり方検討

- ・効果的な指導、弾力的なカリキュラム編成
- ・猛暑傾向への安全対策
- ・より快適な水泳環境を児童・生徒へ



継承・発展

これまでの水泳授業

- ・和泉の子は泳げる！ → 泳力・泳法の習得
- ・中学校まで学校で教員による水泳授業

方向性

これまでの水泳授業にかかる意義・歴史・伝統を継承しつつ、
更なる安全性、快適性、専門性を確保するために、
和泉市立学校における今後の水泳授業のあり方について、
方針を検討・決定

- 1. 水泳授業は、民間等の屋内プール施設の活用を
段階的に導入することとし、新たな学校設置にあたっては、
プール施設を設置しない方向とすること**
- 2. 令和3年度よりモデル実施を行い、課題等を整理のうえ、
実施計画の策定に取り組むこと**

「安全性」 「快適性」 「専門性」
3つの観点

より安全に

安全性を高めた水泳授業を確保

- ・屋内プールにより、猛暑に伴う熱中症等の事故を防止
- ・指導員は心肺蘇生法等のライセンスを保有し、プール監視員も配置
- ・指導員1名につき子どもの指導人数基準を設定



より快適に

年間を通じて快適なプール環境を確保

- ・屋内プールのため、天候（猛暑、低気温、降雨、雷等）に左右されず、快適な環境を確保
- ・清潔な更衣室、シャワーブース、採暖室を完備
- ・1時間毎の水質チェックによる高い衛生面の安全性



より専門的に

確立された専門性の高い指導による泳力向上

- ・民間独自の運動カリキュラムを取り入れた学年や体力、技術 に応じた段階別指導
- ・学校の教員の教育的指導に指導員の専門的指導が加わり、指導の効果を向上



- 民間事業者実績：小学校低学年のうちに6、7割の児童が25メートルを泳げる泳力の獲得
- ・着衣泳など、水の事故防止に関する自己の命を守る安全教育
- ・泳げる子どもはさらに高い泳力を

その他

民間等の室内プールを活用することによるメリット

- ・指導直前にも児童生徒の検温等の健康チェックを実施
- ・通年での水泳授業が可能
 - 弾力的なカリキュラム編成が可能に
- ・教職員による水質管理、清掃等が不要
 - 子どもと向き合う時間が増加
- ・建替えや大規模改修等、維持管理が不要
 - コスト面でも縮減が期待
- ・バスによる移動時間
 - 事前指導や授業のふり返し等の学習に活用



モデル事業について

モデル実施について

【目的】

和泉市の学校教育の特色でもある水泳授業について、

暑さ対策、施設の老朽化などの諸課題への対応が

必要とされる中、

より**安心・安全・快適な水泳授業を子どもたちに提供**すべく、

モデル校による民間等屋内プールを活用した水泳授業の

先行実施を行い、効果等の測定により、

今後の和泉市全体の水泳授業の展開に資する。

モデル校の選定について

【主な観点】

- 学校規模（児童生徒数、学級数）
 - 学年内で分割が必要となる学校は避ける
 - 1 学年あたりのクラス数が 2 クラス規模
 - 50人未満の学年が複数ある
 - 2 学年合同実施も想定
- 学校と施設の距離
- バス利用の有無

実施イメージ

【実施内容】 民間等屋内プールを活用した水泳授業の実施
各学年5回実施（1回あたり2授業時間）
バスによる送迎

【実施校】 光明台南小学校、榎尾中学校

【実施期間】 令和3年5月から令和3年12月
※小学校は1学期、中学校は2学期を想定

【実施会場】 近隣民間屋内プールを予定

【移動方法】 専用バス(2台)で移動

【時程イメージ】

学校時程			水泳授業				
HR	8:30	8:50	水泳 1コマ目	準備	8:40	8:50	10
				移動	8:50	9:00	10
1	8:50	9:35		着替	9:00	9:10	10
休憩	9:35	9:45		授業	9:10	10:10	60
2	9:45	10:30		着替	10:10	10:20	10
				移動	10:20	10:30	10
休憩	10:30	10:50	水泳 2コマ目	準備	10:30	10:40	10
				移動	10:40	10:50	10
3	10:50	11:35		着替	10:50	11:00	10
休憩	11:35	11:45		授業	11:00	12:00	60
4	11:45	12:30		着替	12:00	12:10	10
				移動	12:10	12:20	10

- 1回を2授業時間＋休み時間として実施
- 1日3回の実施を基本として設定
- 練習時間は60分程度を確保

【時程イメージ】

学校時程			水泳授業				
昼休	13:35	13:45	水泳 3コマ目	準備	13:35	13:45	10
5	13:50	14:35		移動	13:45	13:55	10
休憩	14:35	14:45		着替	13:55	14:05	10
6	14:45	15:30		授業	14:05	15:05	60
HR	15:30	15:40		着替	15:05	15:15	10
下校		16:00		移動	15:15	15:25	10



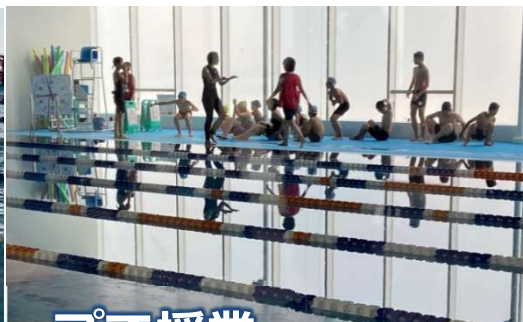
入場後、点呼・健康観察



見学者は空調の整った環境で見学



級別のグループで授業



ロッカーで着替え

【スケジュール例】

	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13
午前 ①		1年・4年	1年・4年	2年・3年	1年・4年	1年・4年	1年・4年	5年		
午前 ②		2年・3年	2年・3年	5年	5年	2年・3年	2年・3年	6年		
午後		5年	6年	6年	6年	5年	6年			

- ・使用する会場の閉館日を利用します。
- ・実施日は指定日内で調整可能ですが、1日3回実施を基本とします。
- ・会場利用上限120名、バス2台(1台60名)に収まるように調整を行います。

【授業イメージ】

- ・インストラクター、監視員が授業に加わります。
- ・**授業者は教員です。**
インストラクターのみで授業を行うものではありません。

(主な役割)

教員・・・引率、健康観察、授業進行、児童への指示・指導
・評価、見学者の対応など
※担任以外に1名は帯同

インストラクター・・・実技指導
※配置数は児童生徒数に応じて配置

監視員・・・児童生徒の様子を陸上より監視
※1名配置

【授業イメージ】

- ・級(指導内容)による班別での練習**
- ・各班を担当するインストラクターが実技指導**
- ・インストラクター1名で15～20名を担当**
- ・人数の多い級を複数で見ること想定**
- ・教員は担当する級についてインストラクターと確認しながら授業の進行や指示、声かけ等、児童の学習を支援**

【授業イメージ】

例) 5年生 (80名) の単独学年で実施

	1班	2班	3班	4班
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-①	実技指導			
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-②		実技指導		
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-③			実技指導	
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-④				実技指導
監視員	陸上監視			
5-1担任	授業進行・学習支援			
5-2担任			授業進行・学習支援	
帯同教員	見学者対応等			

【授業イメージ】

例) 2・3年生 (100名) の学年合同で実施

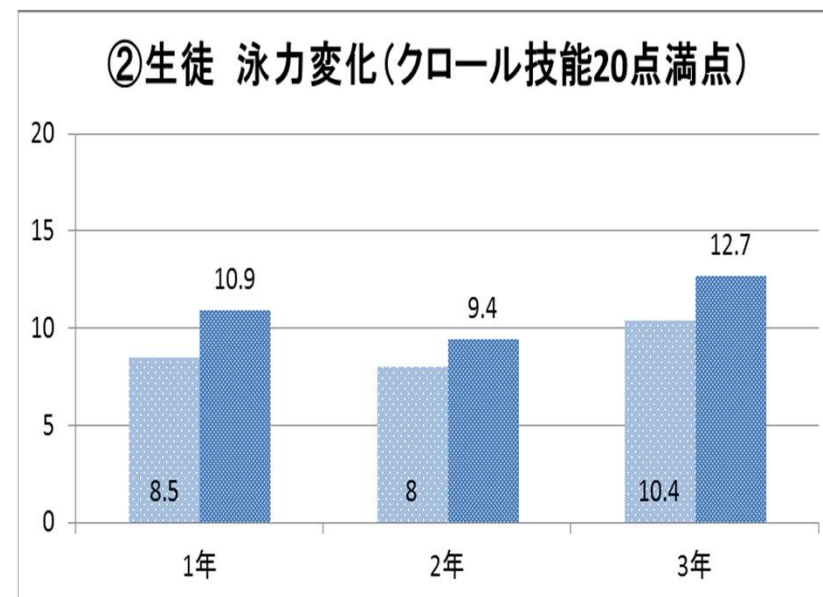
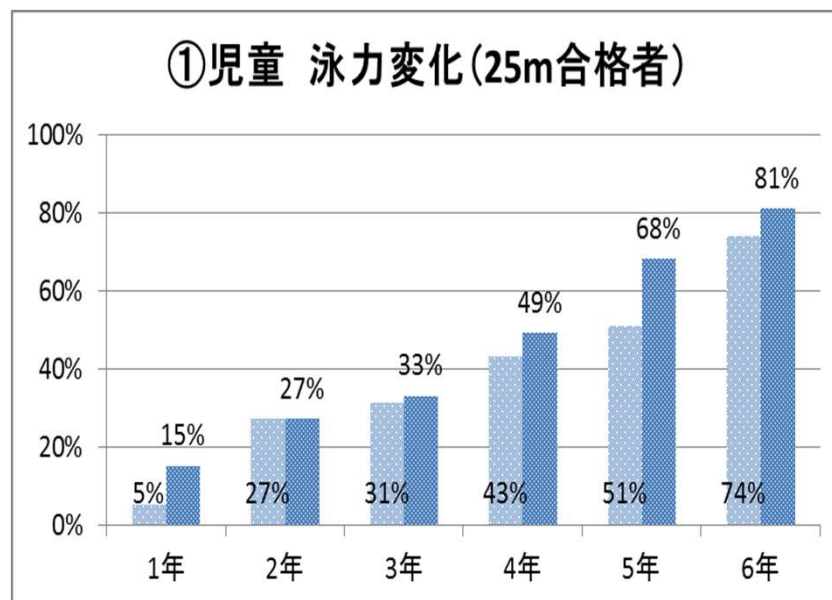
	1班	2班	3班	4班	5班
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-①	実技指導				
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-②		実技指導			
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-③			実技指導		
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-④				実技指導	
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ-⑤					実技指導
監視員	陸上監視				
2-1担任	授業進行・学習支援				
2-2担任		授業進行・学習支援			
3-1担任			授業進行・学習支援		
3-2担任	全体の活動監視・声かけ				
帯同教員	見学者対応等				

効果測定について

(1)泳力測定結果より

■ 授業開始時

■ 授業終了時

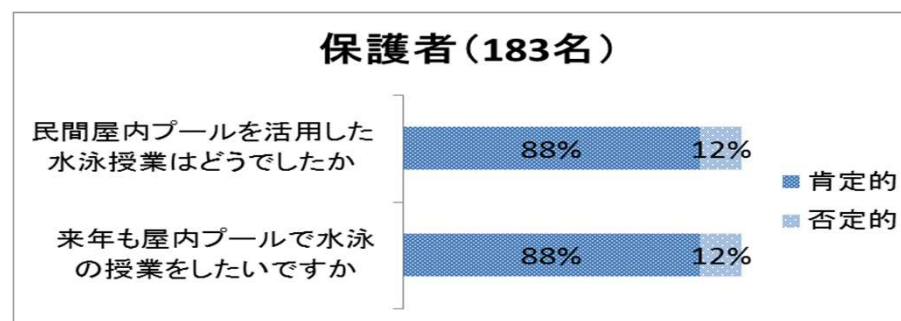
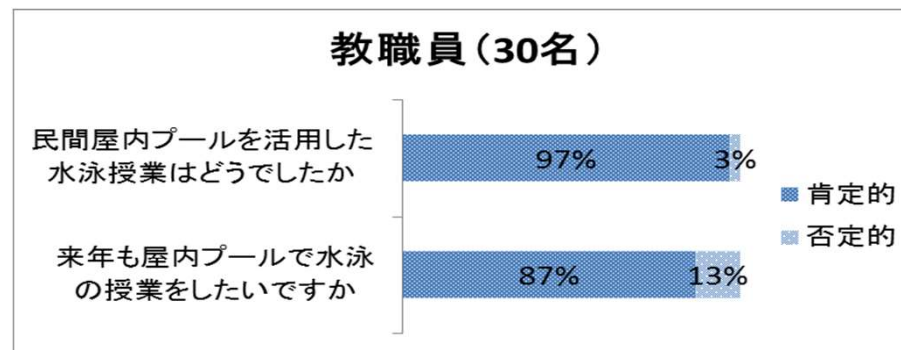
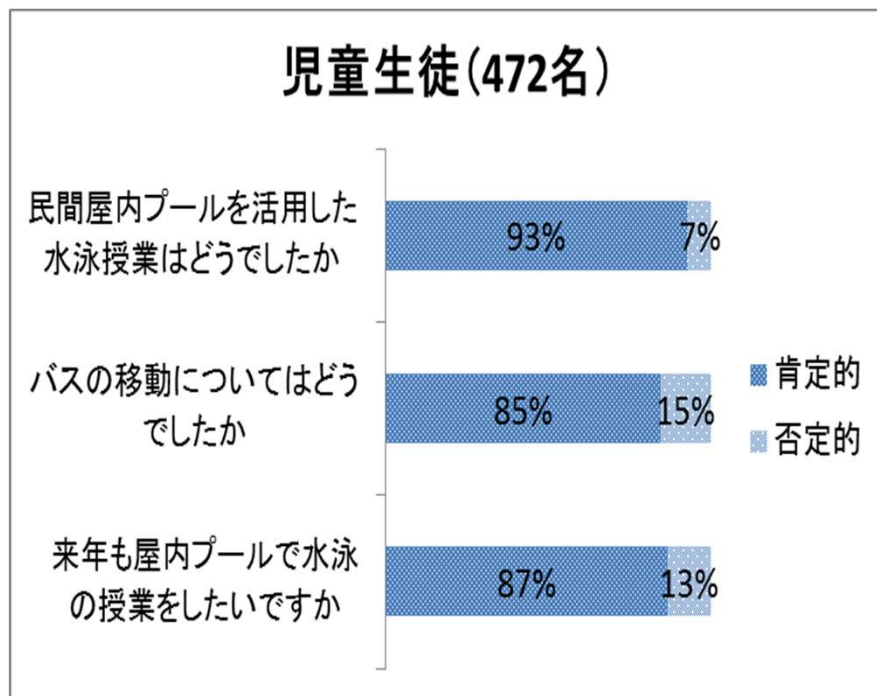


※R1の小学校(6校データ有)6年合格率は約71%
※R2、3は緊急事態宣言等で、授業中止・縮小

※4観点の評価項目を各項目5点満点で評価
(評価点12点・・・おおむね満足できる)

小学2年生は泳力に変化は見られなかったが、
他の8つの学年全てで泳力が伸びた。

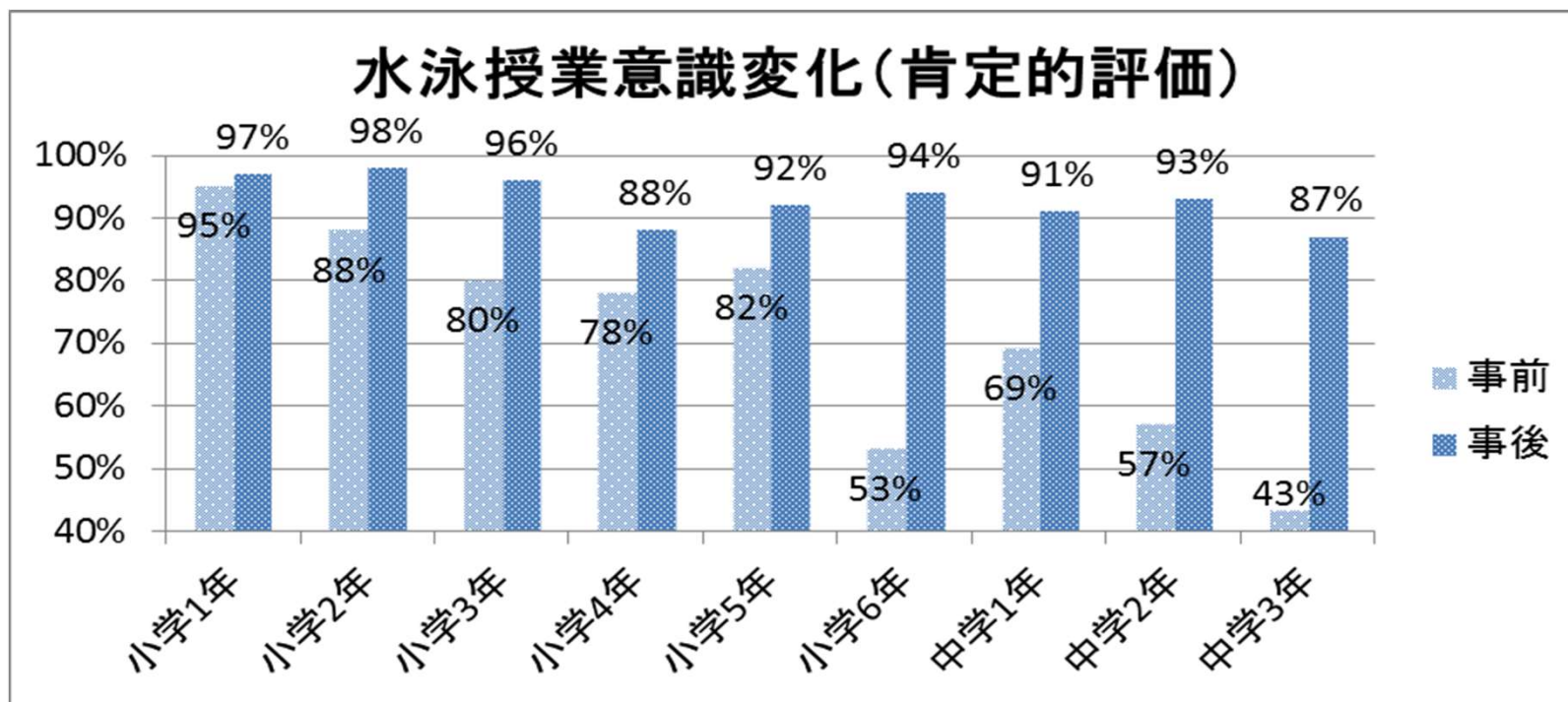
(2)アンケートより



児童生徒、教職員、保護者の全ての項目で約90%が肯定的な回答。

(3)水泳授業意識変化(児童生徒)

【事前・・・水泳授業は楽しみですか 事後・・・水泳授業はどうでしたか】



全学年で事後の評価が向上。

【参考：アンケートの感想、意見等】

①児童生徒

○泳力別で練習しやすく、インストラクターの先生の教え方や説明が分かりやすくて良かった。

○見学でも楽しく学べたし、バス移動の時間も泳ぎ方などを説明してもらえて良かった。

○暑さも寒さもなく、日焼けやプールに虫が浮いていることを心配せずに、快適に泳げました。

○自由に泳げる時間も少しほしかった。

○授業の後、髪の毛を乾かす時間が少なかった。

○プールや更衣室は暖かかったけど、冬場は施設外に出ると寒く、風邪を引かないか心配だった。

【参考：アンケートの感想、意見等】

②教職員

○病弱、肢体不自由の児童も、温水のプールで体調の管理がしやすかった。

○バスの移動時間が短く済んでいるため、移動について学校プールでの実施と大差ないように感じる。

○教員の負担軽減につながりました。

○指導と評価について、インストラクターと教員で調整し、さらに良い取組みへと改善していく必要あり。

○教員の引率等中学校では、体育科以外の負担が増える懸念。

○見学した子どもの補習授業のあり方。

【参考：アンケートの感想、意見等】

③保護者

○季節や天候に左右されず、楽しく授業を受けることができ、インストラクターのわかりやすい指導で上達して良かった。また、バスの移動も快適だった。

○泳力別にグループ分けされており、個人で習っているスイミングで上手くできなかった背泳ぎができたことを喜んで話してくれました。また、夏の暑さを気にしないで入水できることが魅力でした。

○冬場の水泳授業は、体調管理の観点からも避けてほしい。（受験を控えた中学3年生は特に）

○月経等で見学などにおける評価がどうなるか懸念。

今後の展開について

(1) 水泳授業

プール築年数及び改修時期、学校規模などを総合的に勘案し、公平性担保の観点から、当初10年以上かけて導入を想定していた年次全体計画を、前倒しして検討中。

(2) 民間施設

現在、6事業者7施設と学校水泳授業の受入れについて調整中。

(3) 小学校夏季水泳指導

水泳授業に加えて希望者の泳力を伸ばすための場として、また、水泳記録会参加者の練習の場としてこれまで行ってきた。これら夏季水泳指導の趣旨や、民間施設を活用した授業における泳力変化を踏まえ、その在り方についての見直しを検討中。

(4) 小学校水泳記録会

小学校6年間の水泳指導の成果を発揮し、自己記録更新へ挑戦する機会として、また、友だちと競い高め合う機会として、民間施設を活用しての実施を検討中。

(5) 中学校水泳部活動

水泳部活動の実施については、部活動の地域移行の状況や、各学校の実情に応じて判断するが、民間施設を拠点プールとして活用することについても検討中。